

黒田京子

piano

吉野弘志

contrabass

2018 05月27日(日)

開場 14:30

開演 15:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800 円+2drinks order

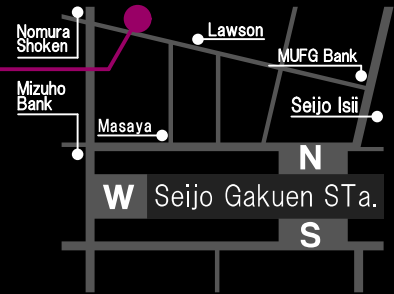
CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



黒田京子

東京都府中市生まれ。'80年代後半、自ら主宰した「オルト」では、プレヒト・ソングを素材に、ジャズだけでなく、演劇やエレクトロニクスの音楽家たち（池田篤(as)、村田陽一(tb)、大友良英(g,etc)等）と脱ジャンルの場作りを行う。'90年以降、坂田明(as)などのバンドメンバーや、演劇や朗読の音楽を長期に渡って務める他、無声映画への音楽提供、ジャズ講座の講師を担当するなど、その活動の幅はたいへん広い。'00年には「オルトペラ・アンサンブル」による音楽劇の公演を行う。'04年から6年間余り、太田恵資(vn)と翠川敬基(vc)のピアノ・トリオで活動。'10年から喜多直毅(vn)と言葉と音楽の実験劇場「軌む音」を不定期に展開。近年は即興演奏を主体とした演奏活動を行っている。'06年、オルト・ミュージックを立ち上げ、コンサートの企画も手掛ける。'13年、ピアノ・ソロのCD『沈黙の声』、'14年、喜多直毅とのデュオCD『愛の讃歌』を発表。

吉野弘志

1955年広島市生まれ。1975年に東京芸術大学音楽学部器楽科（コントラバス専攻）に入学。在学中より明田川荘之(piano)トリオのメンバーとしてジャズ・クラブに出演するようになる。1980年、坂田明(sax)トリオに参加、翌年には同グループでヨーロッパ・ツアーをおこなう。以後、富樫雅彦、加古隆、山下洋輔、板橋文夫、塩谷哲、などのグループに参加。現在は、ベース・ソロと『彼岸の此岸』{太田恵資(violin)、鬼怒無月(guitar)、吉見征樹(tabla)}、『吉野弘志モンゴロイダーズ・ネオ』{小森慶子(clarinet, sax)、田中信正(piano)、和田啓(req)}を活動の中心に、自らの民族楽器としてとらえているウッドベースの可能性を追究すべく『張林(揚琴)とのデュオ』、ウッド奏者・常味裕司の『アラブ音楽アンサンブルFarha』などに参加している。リーダー作品に「泣いたら湖/吉野弘志・モンゴロイダーズ」{メンバーは林栄一(as)、加藤崇之(g)、小山彰(ds)}と、ベース・ソロアルバム「on Bass」、「吉野弘志 彼岸の此岸/Feeling the Other Side」がある。

